

環境マネジメント

2010年度の目標と実績

中期目標である「2010年環境取り組みプラン」に基づき、年次ごとの目標達成度の評価を次年度の計画に反映し、環境保全活動を推進しています。

■2010年度の目標と実績

取り組み項目		中長期目標	2010年度 目標	2010年度 実績
1 エネルギー・ 温暖化	マネジ メント	グローバルな事業活動における一層のCO ₂ 低減：中長期シナリオ策定と確実な推進。	国内外生産系子会社での削減シナリオに沿った活動推進。	国内外生産拠点で原単位改善（前年度比）。
	開発・ 設計	ディーゼル車メーカー世界ダントツナンバーワンの低排出ガス・低燃費性能を目指す。 <ul style="list-style-type: none"> 低排出ガス化を達成。 業界トップレベルの燃費水準を達成。 ハイブリッドシステムの一層の性能向上および車種と導入地域拡大。 重量車燃費：燃費規制適合車の早期市場供給を推進。 	業界トップレベルの低排出ガス・低燃費性能の推進と設定の拡大。	ポスト新長期規制適合車および重量車燃費基準(平成27年度)達成車を拡大。
		エネルギー・燃料多様化に向けた技術開発。 <ul style="list-style-type: none"> 合成燃料などの評価と対応技術の研究開発。 	研究開発と性能評価の実施。	<ul style="list-style-type: none"> FTD燃料と水素化バイオディーゼル燃料との混合液体燃料を使用したハイブリッド路線バスでの実証運行を実施 東京都心～羽田空港間で燃料電池ハイブリッドバスの営業運行
	生産・ 物流	各国/各地域の生産・物流活動における、CO ₂ 低減。 <生産> 売上高あたり排出量 1990年度比 35%減 および 総排出量 1990年度比 10%減。 <物流> 総排出量（国内） 1990年度比 10%減。	各国/各地域の生産・物流活動における、CO ₂ 低減。 <生産> 売上高あたり排出量 1990年度比 35%減および 総排出量 1990年度比 10%減。 <物流> 総排出量（国内） 1990年度比 10%減。	<生産> 売上高あたり排出量 1990年度比 42%減 および 総排出量 1990年度比 21%減。 <物流> 総排出量（国内） 1990年度比 37%減。
	開発・ 設	2015年リサイクル実効率95%達成に向けた取り組みの着実な推進および早期達成。 (1)リサイクル設計のさらなる推進と製品への確実な盛り込み (2)リサイクル性（解体性）評	社内：ASRリサイクル率70%以上達成（自動車リサイクル法基準50%以上）。	<ul style="list-style-type: none"> 2010年度実績：ASRリサイクル率87%。 新型小型トラックの解体性評価の実施、及び解体業者等へ提供する解体マニュアル作成に着手。

2	資源循環	計	<p>価の充実 (3)解体業者など、関連業者との連携強化</p>		
			<p>循環型社会に向けた資源有効利用の一層の推進。</p>	<p>循環型社会に向けた資源有効利用の一層の推進。</p>	
		生産・物流	<p><生産> 売上高あたり排出物量 1990年度比 50%低減。</p>	<p><生産> 売上高あたり排出物量 1990年度比 50%低減。</p>	<p><生産> 売上高あたり排出物量 1990年度比 71%低減。</p>
			<p><物流> 国内 梱包資材使用量 1995年度比 45%低減。</p>	<p><物流> 国内 梱包資材使用量 1995年度比 45%低減。</p>	<p><物流> 国内 梱包資材使用量 1995年度比 74%低減。</p>
	<p><水> 水使用量低減 (各国で個別に設定)。</p>	<p><水> 各国個別目標を設定し低減推進</p>	<p><水> 各国個別に目標設定し低減推進。</p>		
3	環境負荷物質	開発・設計	<p>環境負荷物質の管理、低減の一層の推進。 <ul style="list-style-type: none"> 2006年より国内生産において、4物質の自工会自主目標達成車の導入。 国内生産車に準じた海外生産車の4物質削減の推進。 2007年以降の国内生産新型車より、車室内VOCの基準値を達成。 </p>	<p>SOC4物質低減。 新法規への対応(臭素他) 車室内VOC低減。</p>	<p>SOC4物質の自工会目標をほぼ達成。 新法規の対象物質について推進中。</p>
		生産・物流	<p>PRTR法対象物質の排出量低減。</p>	<p>PRTR法対象物質の排出量低減。</p>	
			<p>国内： 排出量 1998年度比 40%低減。 海外： 各国規制値より厳しい目標を設定する。</p>	<p>国内： 排出量 1998年度比 40%低減。 海外： 排出実績の把握(VOCにて管理)</p>	<p>国内： 排出量 1998年度比 67%低減。 海外： 実績把握中</p>
4	大気環境	開発・設計	<p>各国/各地域の都市大気環境改善に資する排出ガス低減。 国内： <ul style="list-style-type: none"> 指定低公害車等の開発・設定。 ポスト新長期規制適合車の開発。 海外： <ul style="list-style-type: none"> US07、US10への対応技術の開発・商品化。 Euro4、Euro5への対応技術の開発・商品化。 </p>	<p>低排出ガス認定車の認可取得。 指定低公害車の対応。 ポスト新長期規制適合車の商品化。</p>	<p>ポスト新長期規制適合車を拡大。 指定低公害車を拡大。</p>
		生産・物流	<p>VOC排出量低減。 国内：排出量(ボディ塗装) 35g/m²以下。</p>	<p>VOC排出量低減。 国内：排出量(ボディ塗装) 35g/m²以下。</p>	<p>国内：ボディ塗装VOC原単位 21g/m²</p>
			<p>海外：各国トップレベルの低減活動を展開</p>	<p>海外：各国トップレベルの活動展開</p>	<p>海外：各社目標に基づく実績把握と低減推進</p>
		<p>連結環境マネジメント強化</p>			
		<p><生産事業体> <ul style="list-style-type: none"> 企画段階から環境対策を確実に織り込むエコファクトリー活動のグローバルな展開。 </p>	<p><生産事業体> 国内外生産系子会社へのエコファクトリー展開。</p>	<p><生産事業体> 海外関連会社プロジェクトの1件を実施。</p>	
		<p><非生産事業体> <ul style="list-style-type: none"> CO₂など各事業体環境パフォーマンスのグローバル管理と </p>	<p><非生産事業体> 国内外事業体の月度のデータ共有</p>	<p><非生産事業体> データ共有中</p>	

向上。		
<p><グローバル環境会議></p> <ul style="list-style-type: none"> 定期的な開催による、グループ丸となった環境保全への取り組み。 	<p><グローバル環境会議></p> <ul style="list-style-type: none"> 海外関連会社生産環境会議開催。 エリア環境会議立ち上げ。 	<p><グローバル環境会議></p> <ul style="list-style-type: none"> 海外関連会社生産環境会議の定期開催。 北米エリア環境会議開催 東南アジアエリア環境会議開催（11年5月）
ビジネスパートナーにおける環境マネジメントの一層の推進		
<p><仕入先></p> <ul style="list-style-type: none"> 仕入先と連携した活動の一層の充実、環境負荷物質の管理充実。 	<p><仕入先></p> <p>事前評価システムの運用。</p>	<p><仕入先></p> <p>事前評価による環境負荷物質管理を実施</p>
<p><国内販売会社></p> <ul style="list-style-type: none"> ディーゼルメーカートップレベルの日野自動車販売会社環境ガイドラインに基づく販社拠点の環境改善活動推進。 	<p><国内販売会社></p> <p>全国販社における環境改善活動の実施。</p>	<p><国内販売会社></p> <p>全国221拠点にて環境改善活動を実施。 改善・是正を支援。</p>
→ 環境関連法規に順じた適正な設備、作業管理の徹底。	目標：EMD認定率95%。	EMD*認定率96%、212拠点を認定（前年+5拠点）。 *エコマネジメントディーラー
→ エネルギー使用量、廃棄物排出量の把握による削減活動への取り組み。	目標：CO ₂ 、廃棄物、水の削減目標06年度▲5%。	実績：CO ₂ ▲11%、廃棄物▲25%、水▲16%。廃棄物は売却リサイクルすることで減少。
<p><海外販売会社></p> <ul style="list-style-type: none"> 海外代理店のオペレーションより発生するCO₂などの把握。 	<p><海外販売会社></p> <p>月度エネルギー使用量データ定期入手。</p>	<p><海外販売会社></p> <p>海外非生産拠点6社とデータ連結実施。</p>
環境教育の充実……従業員の環境意識向上を目的とした環境教育の継続的実施。	<ul style="list-style-type: none"> 環境意識調査の継続実施と施策検討 環境月間行事等を通じた意識向上 EMSおよび社内制度における環境教育 	<ul style="list-style-type: none"> 環境意識調査実施、11年度より施策実施。 環境月間では展示会、表彰等を実施。 環境教育は計画通り実施。
<p>LCAの考え方を踏まえた自動車環境総合評価体制の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> 推進体制の構築と、作業環境（データベース、コンピューターネットワーク等）の整備および運用。 	<ul style="list-style-type: none"> Eco-VASの導入。 LCA手法に基づくCO₂削減活動の実務展開。 <p>※Eco-VAS（エコバス）：Eco-Vehicle Assessment System 車両の開発プロセスにおける、生産・使用・廃棄に至るLCA（ライフサイクルアセスメント）の考え方を踏まえた総合的な環境評価システム。</p>	<p>新型小型トラックにおける</p> <ul style="list-style-type: none"> Eco-VASの取り組みの実務展開。 ライフサイクルでのCO₂排出量把握と削減の取り組みを推進。
環境保全活動への寄与貢献。		
<ul style="list-style-type: none"> 日野自動車グリーンファンドの運営支援による社会貢献。 	<p>（財）日野自動車グリーンファンド実施事業の運営支援。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 財団が実施した下記事業の運営を支援した。 助成事業： 17団体へ約740万円助成助成した団体の活動発表会実施 自主事業： ぐんま昆虫の森バスツアー実施 炭焼き体験実施 環境講演会実施

社会との連携			地域協働： 多摩川・浅川クリーン作戦参加 コスモスアベニュー参加
	<ul style="list-style-type: none"> 長期的な視野にたった、環境教育などを通じての地域貢献。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域に密着した活動の推進。 	<ul style="list-style-type: none"> 「みなみ野自然塾」主催の里山保全活動に参加。 パキスタンやインドネシアで地元学生と一体となった環境イベント開催し環境意識向上に貢献。
	環境情報開示と双方向コミュニケーションの充実。		
	<ul style="list-style-type: none"> エコドライブ情報のお客様への提供。 	<ul style="list-style-type: none"> お客様テクニカルセンターを通じたエコドライブ教育の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 同センター2010年度来場者6,994人（累計30,527人）
	<ul style="list-style-type: none"> 各国・各地域での環境報告書のさらなる充実。 	<ul style="list-style-type: none"> 発行拠点の拡大 	<ul style="list-style-type: none"> 国内外連結子会社3社で発行。
	<ul style="list-style-type: none"> 地域社会とのコミュニケーションをグローバルに一層充実。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域コミュニケーションの推進。 	<ul style="list-style-type: none"> 国内日野各工場で住民懇談会実施。 国内外連結子会社で地域住民とのコミュニケーションを推進中。
	持続可能な発展を踏まえた環境政策への積極的な貢献と提言。		
<ul style="list-style-type: none"> 経団連・自工会等産業界の環境取り組みの推進。 	<ul style="list-style-type: none"> 自工会等の活動への積極参画。 	自工会各委員会、部会への参加（安全環境技術委員会・環境委員会ほか）。	

バックナンバー

☒ 2008年度の目標と実績